

第 1 部

現 状

第1章 人口等の統計

1 人口構造

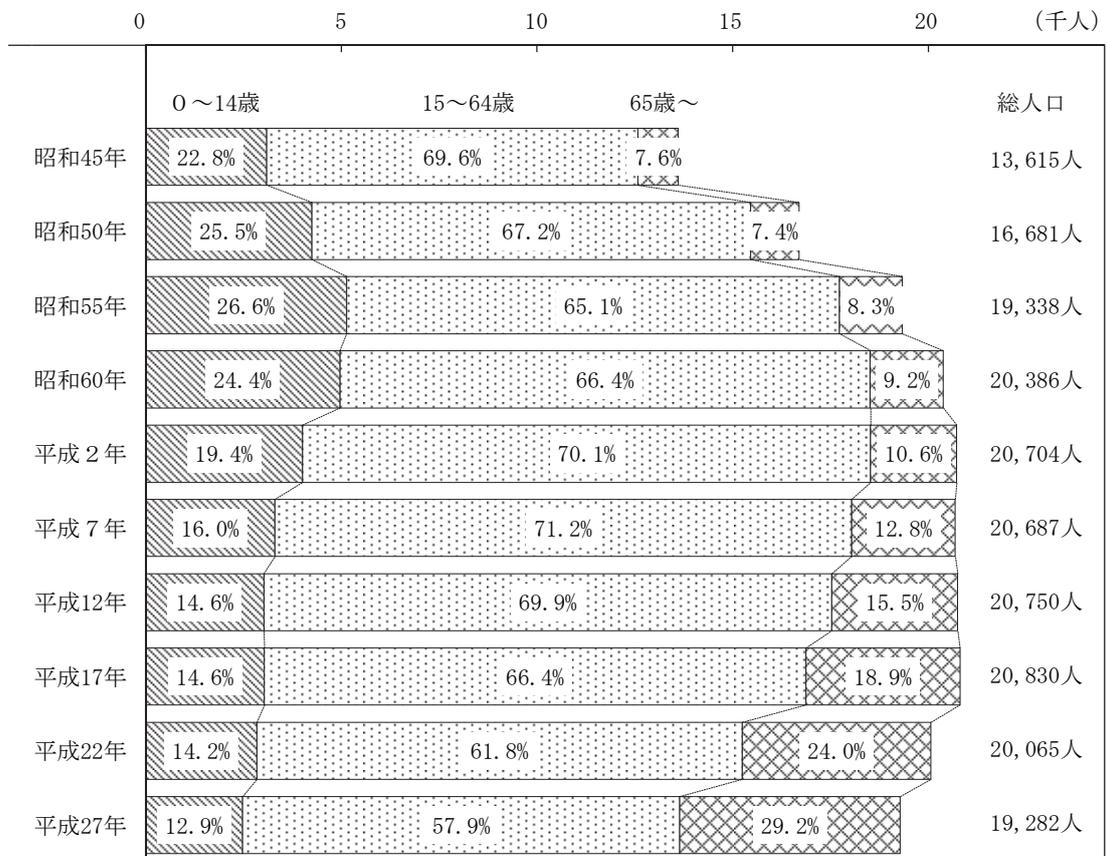
(1) 年齢3区分別人口の推移

神戸町では高度成長期の終わりごろ、昭和46年に大規模な工業団地が完成しました。それに伴い人口が急激に増加し、昭和45年頃から昭和55年までの間に人口はほぼ1.5倍に増加しています。この増加は、主に団塊世代を中心とした働き手が多数転入してきたことによるものです。

神戸町の人口は2010年（平成22年）頃より減少してきています。

年齢3区分別にみると、0～14歳の年少人口の比率はピークである昭和55年の半分以下に低下しており、65歳以上の老年人口の比率（高齢化率）は昭和50年以降増加を続け、平成27年は昭和50年の4倍近くになっています。

図1-1-1 年齢3区分人口の推移



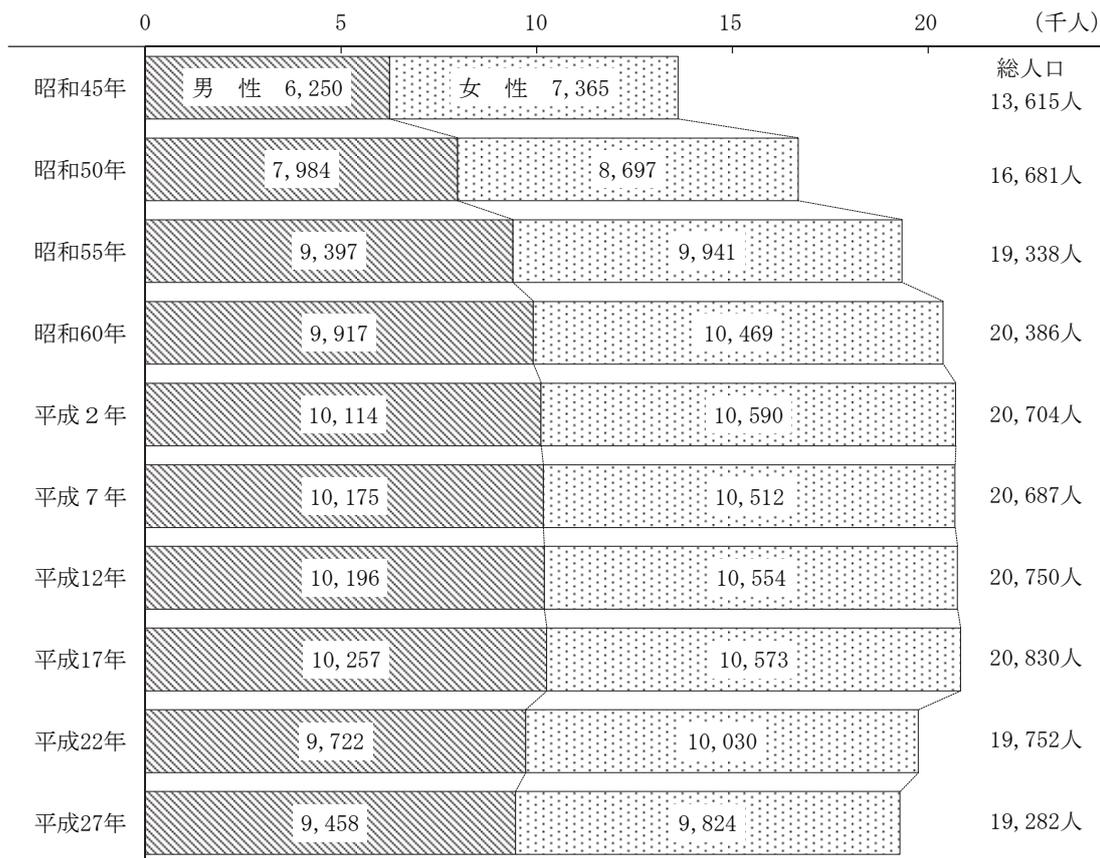
(注) 平成22年・27年は、年齢不詳を除いて計算した。

資料：「国勢調査」

(2) 性別人口の推移

昭和45年～平成27年の本町の性別人口割合は、男性より女性が多くなっています（図1-1-2）。平成27年の性別人口比率をみると、全国・岐阜県も女性のほうが多くなっています（図1-1-3）。出生数は女児より男児が多いのですが、女性の平均寿命の伸びが男性をかなり上回っているため、今後も女性のほうがやや多く推移すると考えられます。

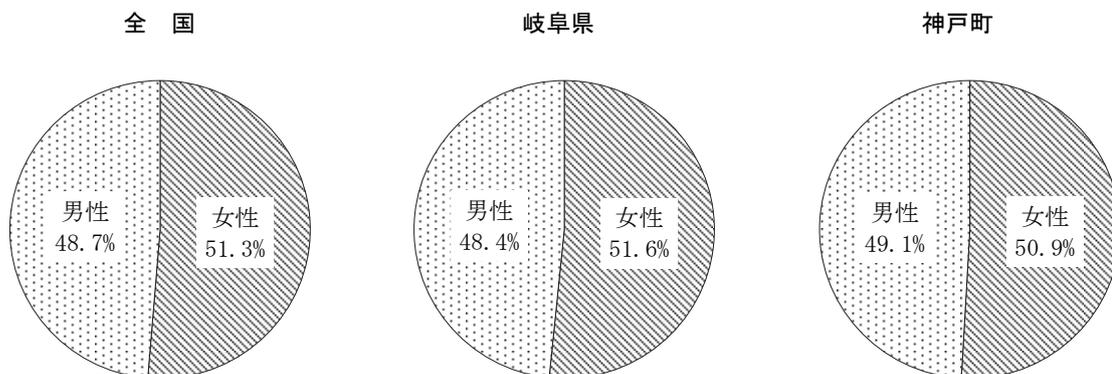
図1-1-2 性別人口の推移



(注) 平成22年は、性別不詳を除く。

資料：「国勢調査」

図1-1-3 性別人口比率の比較（平成27年10月）



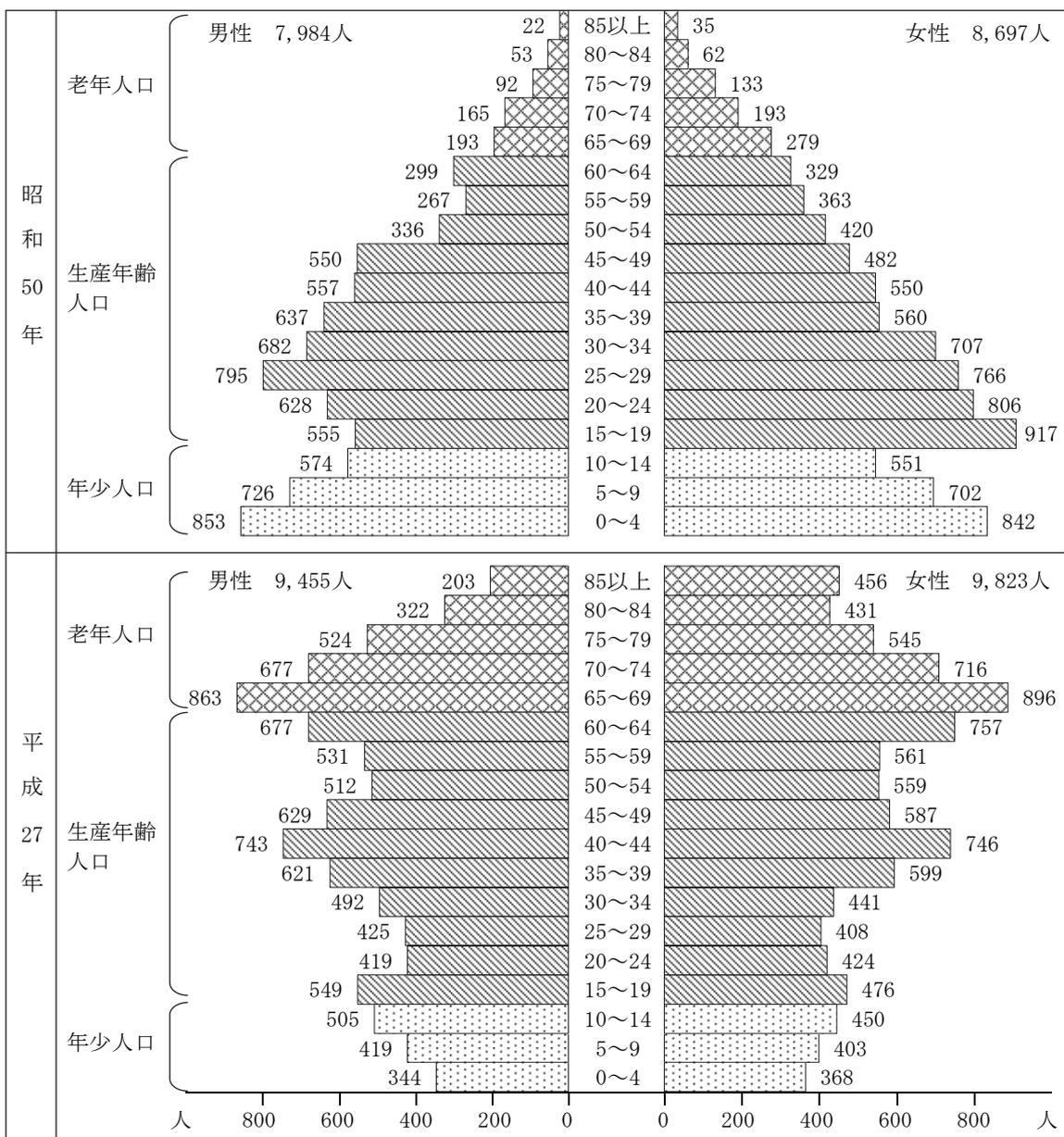
資料：「国勢調査」

(3) 人口ピラミッド

図1-1-4は、昭和50年および平成27年の5歳刻みの人口ピラミッドです。平成27年の66～68歳が昭和22～24年生まれの第1次ベビーブーム世代（団塊の世代）、41～44歳が昭和46～49年生まれの第2次ベビーブーム世代にあたります。団塊の世代が高齢者の仲間入りをし、高齢者人口が急増しています。

なお、平成27年10月現在の本町の平均年齢は、男性が45.9歳、女性が48.4歳、全体で47.1歳となっています。

図1-1-4 人口ピラミッド



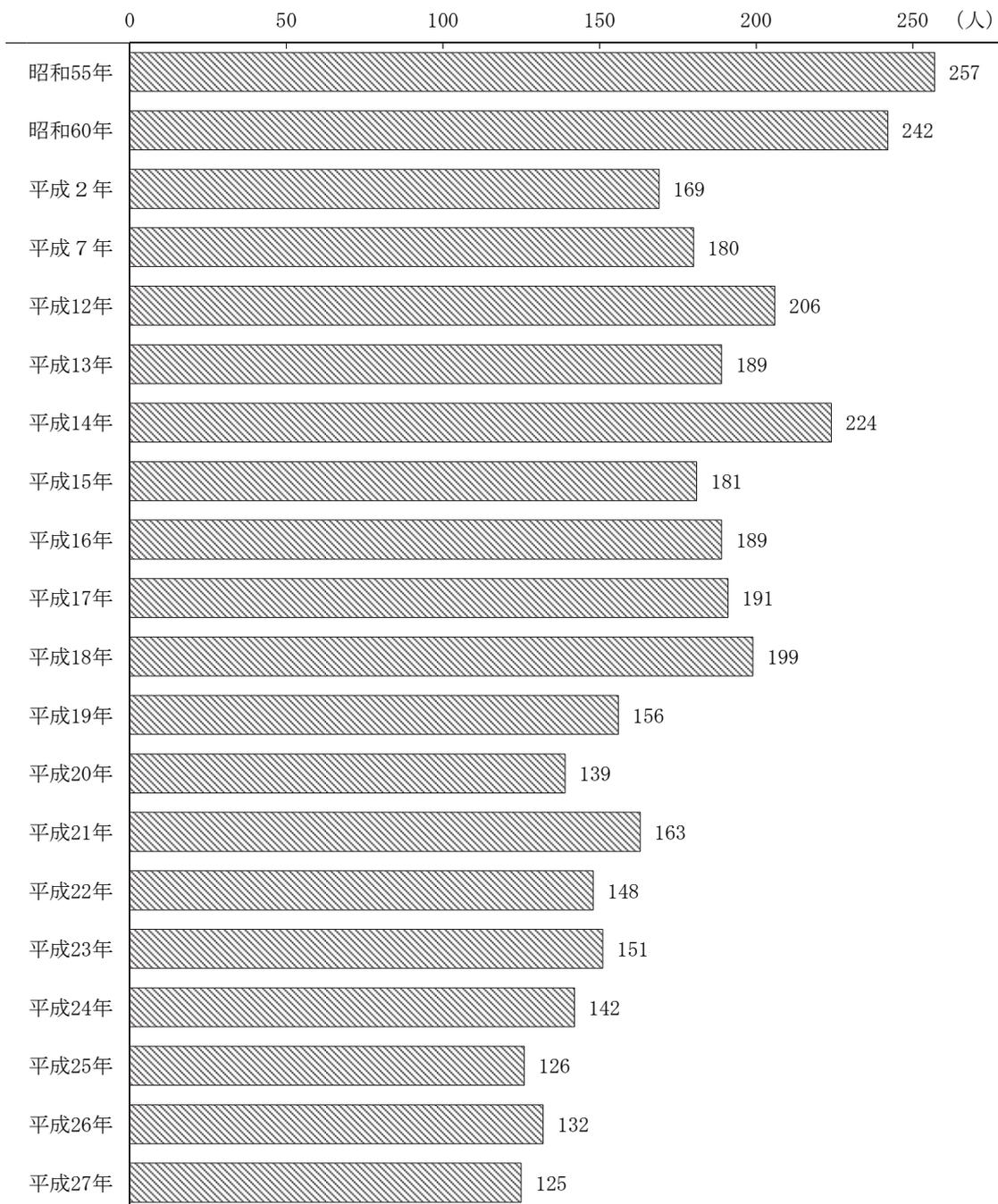
資料：「国勢調査」

2 出 生

(1) 出生数の推移

平成12年以降の出生数は、平成14年の224人が最も多く、平成19年以降が激減しています。

図1-1-5 出生数の推移

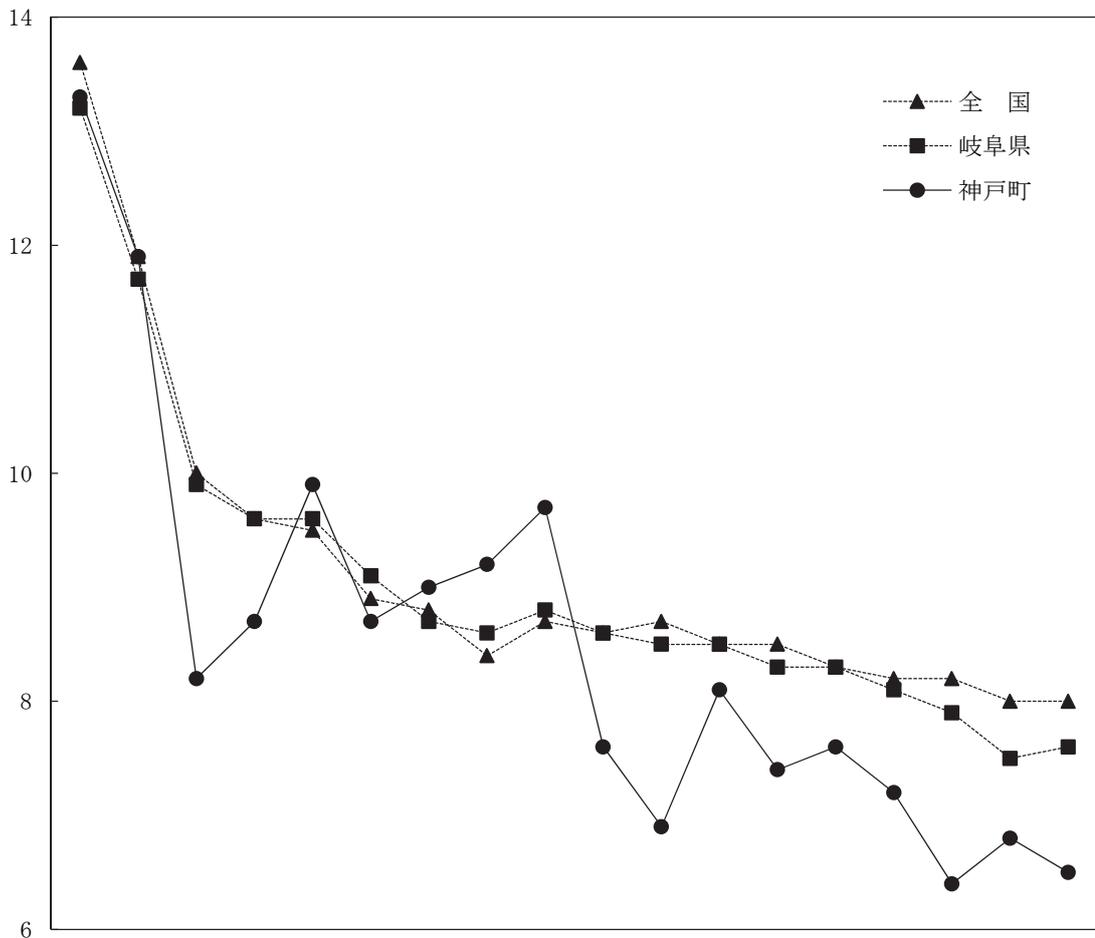


資料：「人口動態統計」

(2) 出生率の推移

人口1,000人当たりの出生率は、全国・岐阜県とも低下傾向を続けています。本町は、人口が少ないため、全国・岐阜県より高い年もあれば低い年もあります。ただ、平成19年以降の本町は、全国・岐阜県を下回っています。

図1-1-6 出生率の推移（人口1,000対）



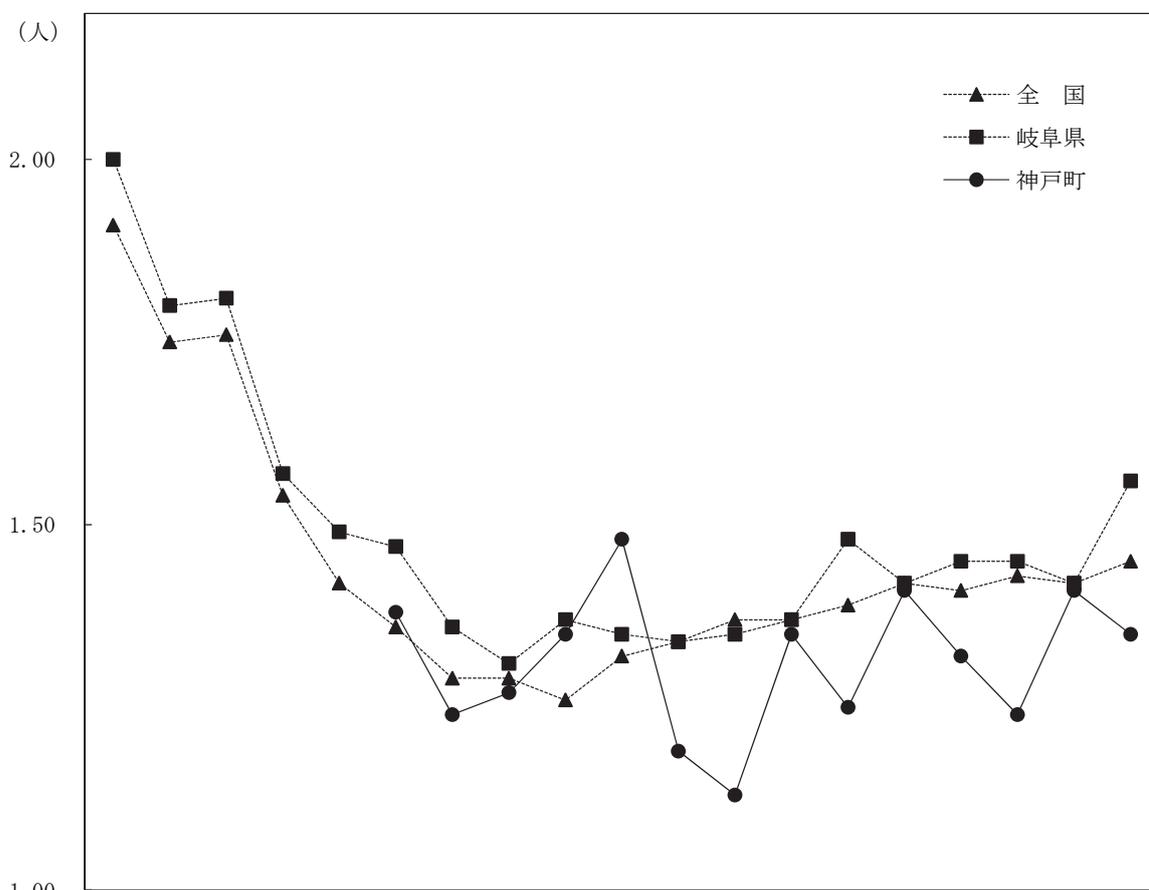
	昭55	60	平2	7	12	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
全 国	13.6	11.9	10.0	9.6	9.5	8.9	8.8	8.4	8.7	8.6	8.7	8.5	8.5	8.3	8.2	8.2	8.0	8.0
岐阜県	13.2	11.7	9.9	9.6	9.6	9.1	8.7	8.6	8.8	8.6	8.5	8.5	8.3	8.3	8.1	7.9	7.5	7.6
神戸町	13.3	11.9	8.2	8.7	9.9	8.7	9.0	9.2	9.7	7.6	6.9	8.1	7.4	7.6	7.2	6.4	6.8	6.5

資料：「人口動態統計」

(3) 合計特殊出生率の推移

合計特殊出生率とは、一人の女性が一生に産む子どもの数を計算した率で、近年になってから、人口1,000人当たりの出生率より合計特殊出生率を用いることが多くなっています。昭和24年の全国の合計特殊出生率は4.32でした。それが年々低下し、平成17年には1.26になりました。それ以降、徐々に持ち直してはいるものの、平成27年は1.45と、人口が減少しないとされる2.07を大きく下回っています。平成19年以降の本町の合計特殊出生率は、全国・岐阜県を下回って推移しています。

図1-1-7 合計特殊出生率の推移



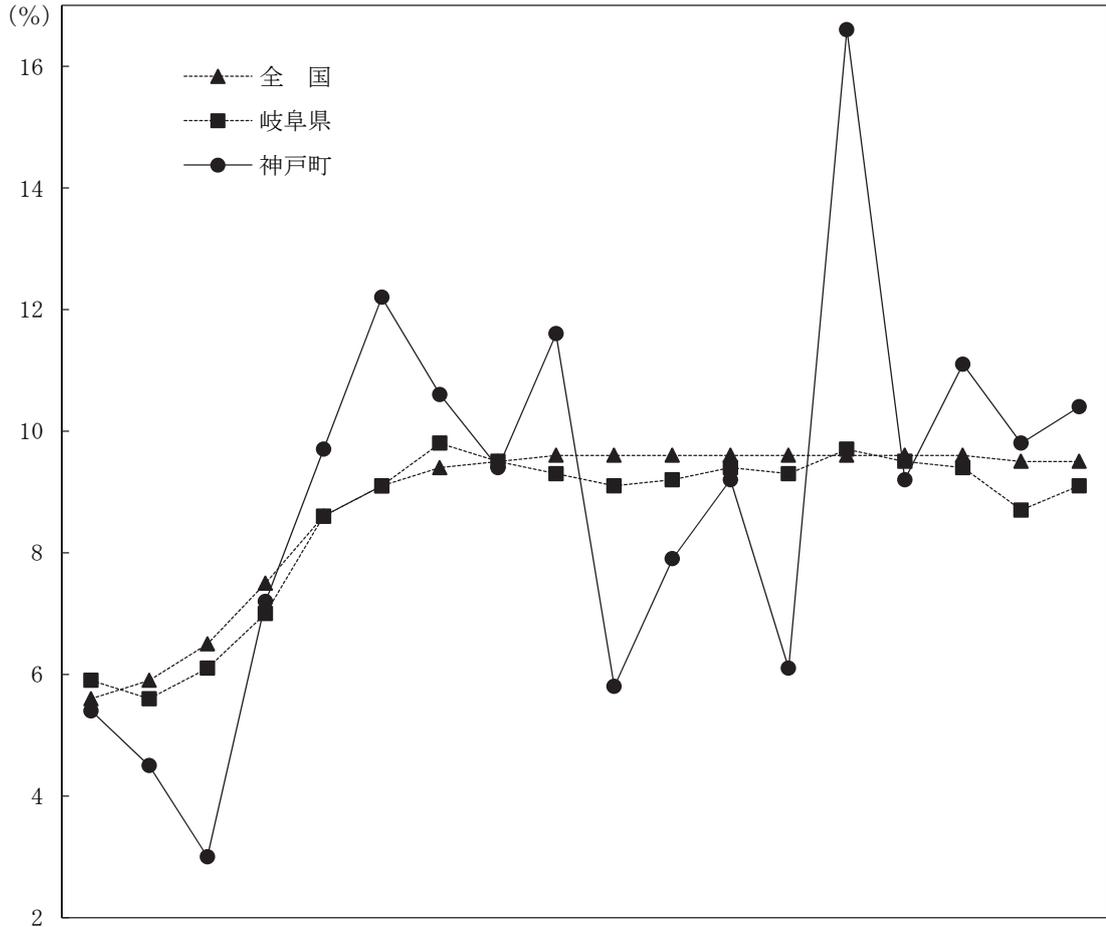
	昭50	55	60	平2	7	12	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
全 国	1.91	1.75	1.76	1.54	1.42	1.36	1.29	1.29	1.26	1.32	1.34	1.37	1.37	1.39	1.42	1.41	1.43	1.42	1.45
岐阜県	2.00	1.80	1.81	1.57	1.49	1.47	1.36	1.31	1.37	1.35	1.34	1.35	1.37	1.48	1.42	1.45	1.45	1.42	1.56
神戸町	不 明					1.38	1.24	1.27	1.35	1.48	1.19	1.13	1.35	1.25	1.41	1.32	1.24	1.41	1.35

資料：「人口動態統計」

(4) 低体重児出生率の推移

図1-1-8は全出生児に対する2,500g未満の出生児の比率です。全国・岐阜県とも、低体重児出生率は上昇傾向にありましたが、近年になって9.5%前後で推移しています。近年の低体重児の増加は、妊婦のやせ志向や妊娠中の喫煙などがあるとみられています。さらに、医療の発展に伴い（極）低出生体重児が増加してきています。

図1-1-8 低体重児（2,500g未満）出生率の推移



	昭55	60	平2	7	12	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
全 国	5.6	5.9	6.5	7.5	8.6	9.1	9.4	9.5	9.6	9.6	9.6	9.6	9.6	9.6	9.6	9.6	9.5	9.5
岐阜県	5.9	5.6	6.1	7.0	8.6	9.1	9.8	9.5	9.3	9.1	9.2	9.4	9.3	9.7	9.5	9.4	8.7	9.1
神戸町	5.4	4.5	3.0	7.2	9.7	12.2	10.6	9.4	11.6	5.8	7.9	9.2	6.1	16.6	9.2	11.1	9.8	10.4

資料：「西濃地域の公衆衛生」

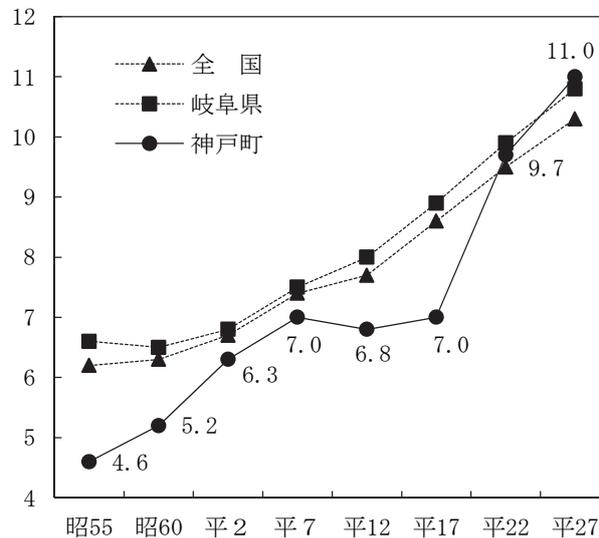
3 死 亡

(1) 死亡数・率の推移

人口1,000人に対する岐阜県の死亡率は、全国平均よりやや高い値で推移しており、平成22年までの本町の死亡率は、全般的に全国・岐阜県より低い率で推移していました（図1-1-9）。

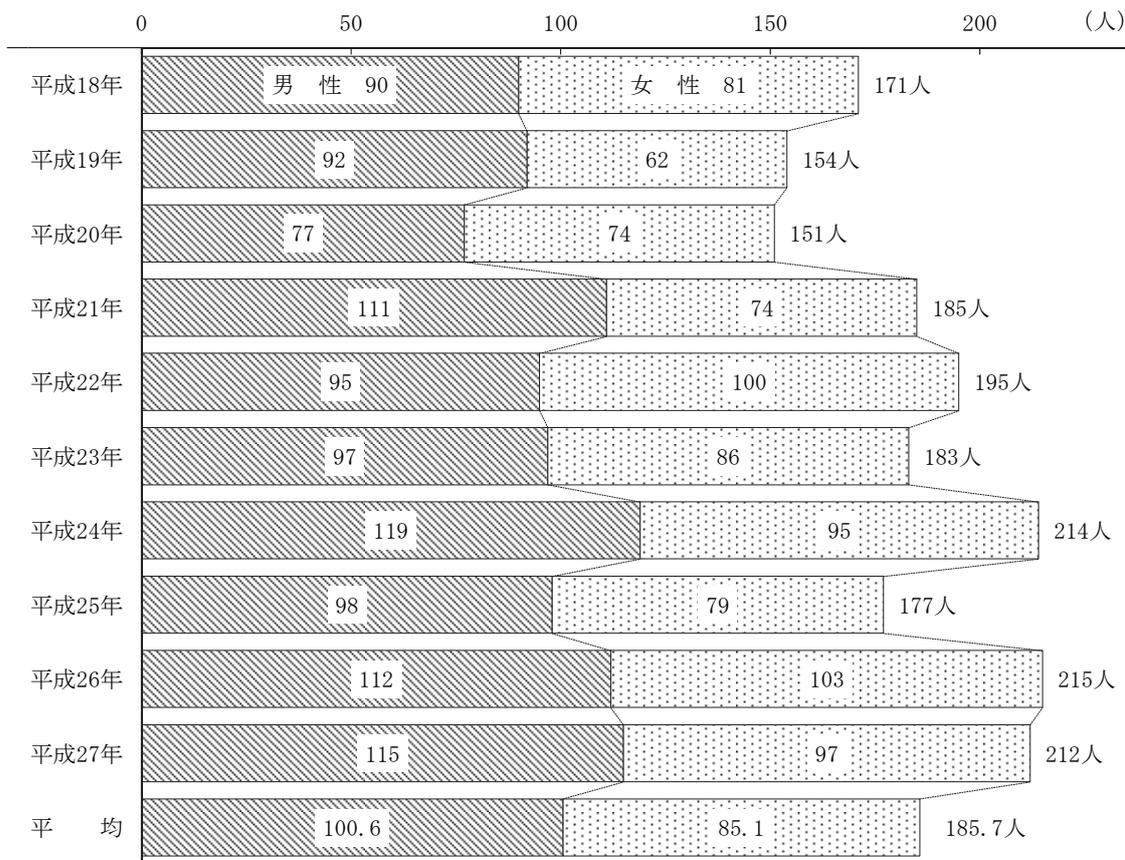
平成18年以降の死亡数をみると、最も多い平成26年が215人、最も少ない平成20年が151人です（図1-1-10）。

図1-1-9 死亡率（人口千対）の推移



資料：「人口動態統計」

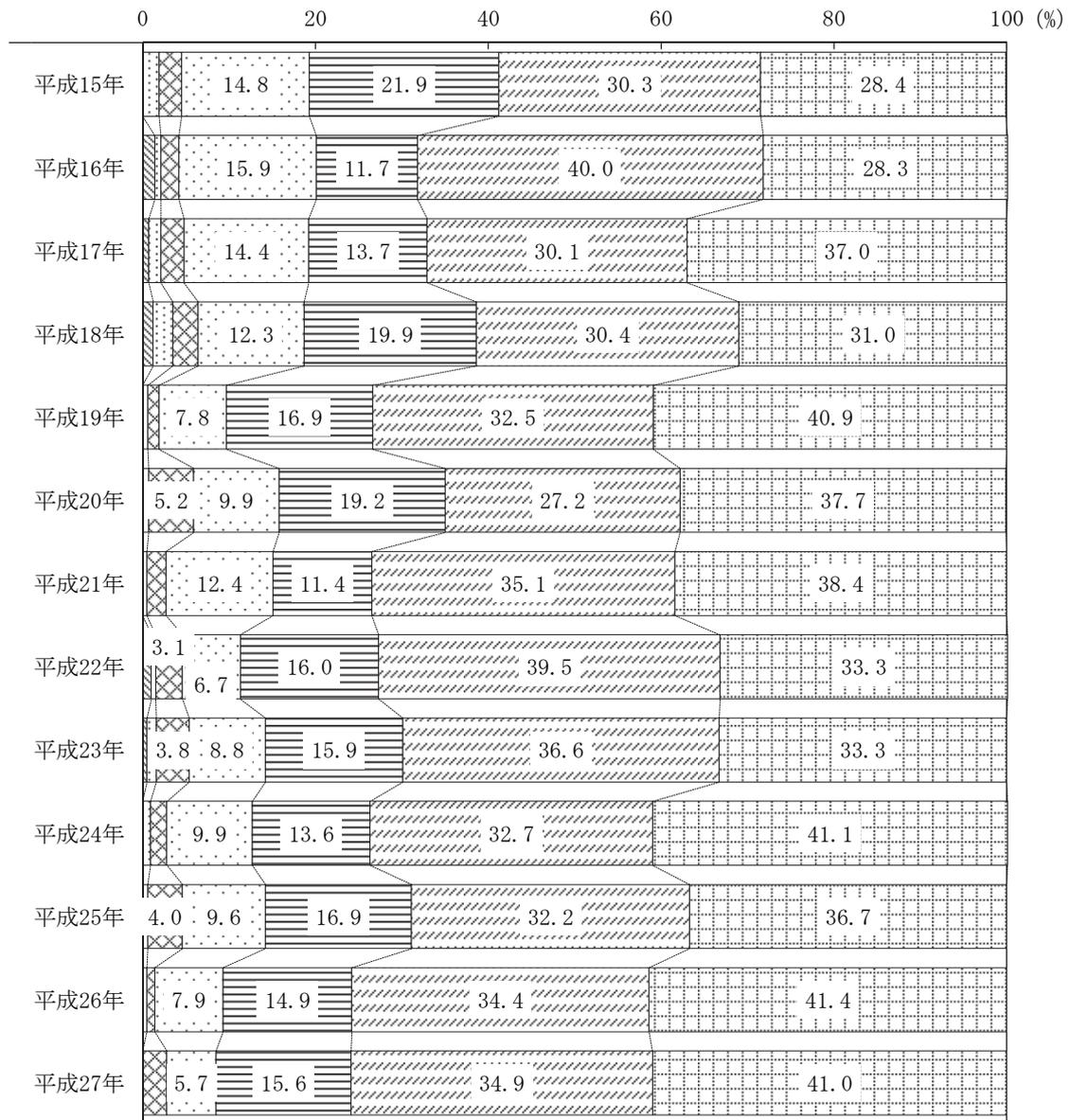
図1-1-10 死亡数の推移



資料：「人口動態統計」

平成15年～平成27年の死亡数の年齢別割合にみると、49歳以下の死亡割合は最も高い平成18年でも6.4%にすぎず、75歳～84歳および85歳以上の死亡割合が非常に高くなっています（図1-1-11）。

図1-1-11 死亡数の年齢別割合



10歳未満
 10～29歳
 30～49歳
 50～64歳
 65～74歳
 75～84歳
 85歳以上

資料：「人口動態統計」

(2) 主要死因

平成27年の5大死因割合（表1-1-1）をみると、全国・岐阜県・神戸町とも、「悪性新生物」（がん）が最も高く、次いで「心疾患」「肺炎」となっています。

図1-1-12により、平成18年以降の主要死因別死亡割合の推移をみると、各年とも「悪性新生物」（がん）が最も高く、「心疾患」がやや低下しています。

表1-1-2は、平成27年の性・年齢階級別主要死因です。平成27年には、212件の死亡が発生しましたが、59歳以下の死亡数は12人となっています。

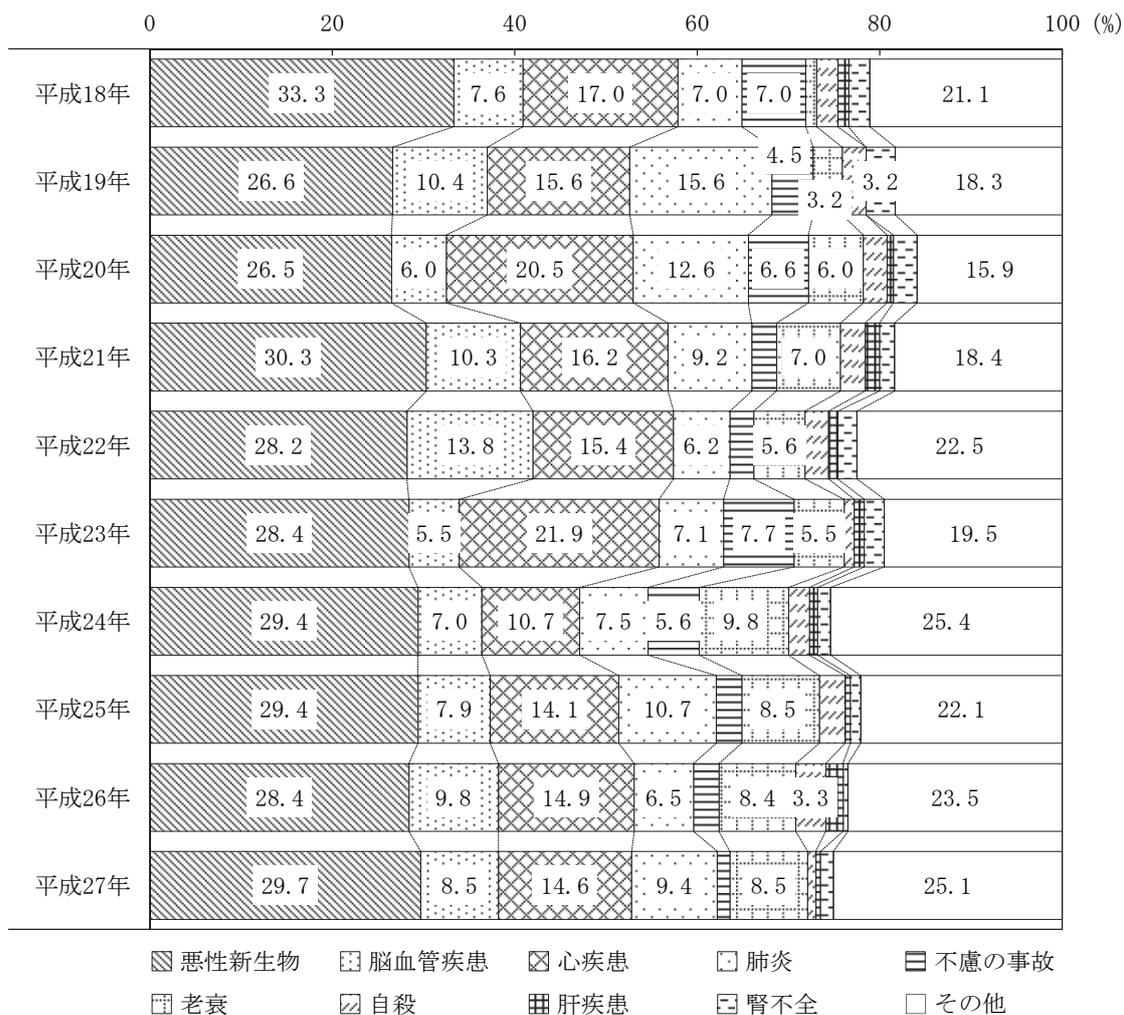
表1-1-1 5大死因割合の比較（平成27年）

単位：%

区 分	悪性新生物	脳血管疾患	心疾患	肺炎	老 衰
全 国	28.7	8.7	15.2	9.4	6.6
岐阜県	27.6	8.6	15.9	8.8	8.0
神戸町	29.7	8.5	14.6	9.4	8.5

資料：「人口動態統計」

図1-1-12 主要死因別死亡割合



資料：「人口動態統計」

表1-1-2 主要死因・性・年齢階級別主要死因（平成27年）

単位：人

区 分		総数	30 ～ 34 歳	35 ～ 39 歳	40 ～ 44 歳	45 ～ 49 歳	50 ～ 54 歳	55 ～ 59 歳	60 ～ 64 歳	65 ～ 69 歳	70 ～ 74 歳	75 ～ 79 歳	80 ～ 84 歳	85 歳 以上	
総 数	総数	212	1	2	1	2	2	4	6	11	32	28	46	87	
	男	115	1	1	-	2	1	3	3	9	17	19	25	34	
	女	97	-	1	1	-	1	1	3	2	15	9	21	53	
悪性新生物	総数	63	-	1	-	1	-	4	4	5	11	11	12	11	
	男	46	-	1	-	1	-	3	2	4	11	8	8	8	
	女	17	-	-	-	-	-	1	2	1	3	3	4	3	
脳血管疾患	総数	18	-	1	1	-	-	-	-	1	2	3	5	5	
	男	10	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	4	2	
	女	8	-	1	1	-	-	-	-	-	1	1	1	3	
	くも膜 下出血 (再掲)	総数	5	1	-	1	-	-	-	-	-	1	1	-	1
		男	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
		女	3	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	脳内出 血(再 掲)	総数	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1
		男	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
		女	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	脳梗塞 (再掲)	総数	10	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	3	3
男		6	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	2	1	
女		4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	
心 疾 患	総数	31	-	-	-	-	1	-	1	1	4	1	7	16	
	男	13	-	-	-	-	1	-	1	1	3	-	2	5	
	女	18	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	5	11	
	急性心 筋梗塞 (再掲)	総数	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
		男	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
女	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	
肺 炎	総数	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	2	14	
	男	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	4	
	女	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	10	
不慮の事故	総数	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	
	男	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	女	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
老 衰	総数	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	17	
	男	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	
	女	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	
自 殺	総数	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
	男	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
肝 疾 患	総数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	女	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
腎 不 全	総数	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	
	男	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	
	女	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
糖 尿 病	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
結 核	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

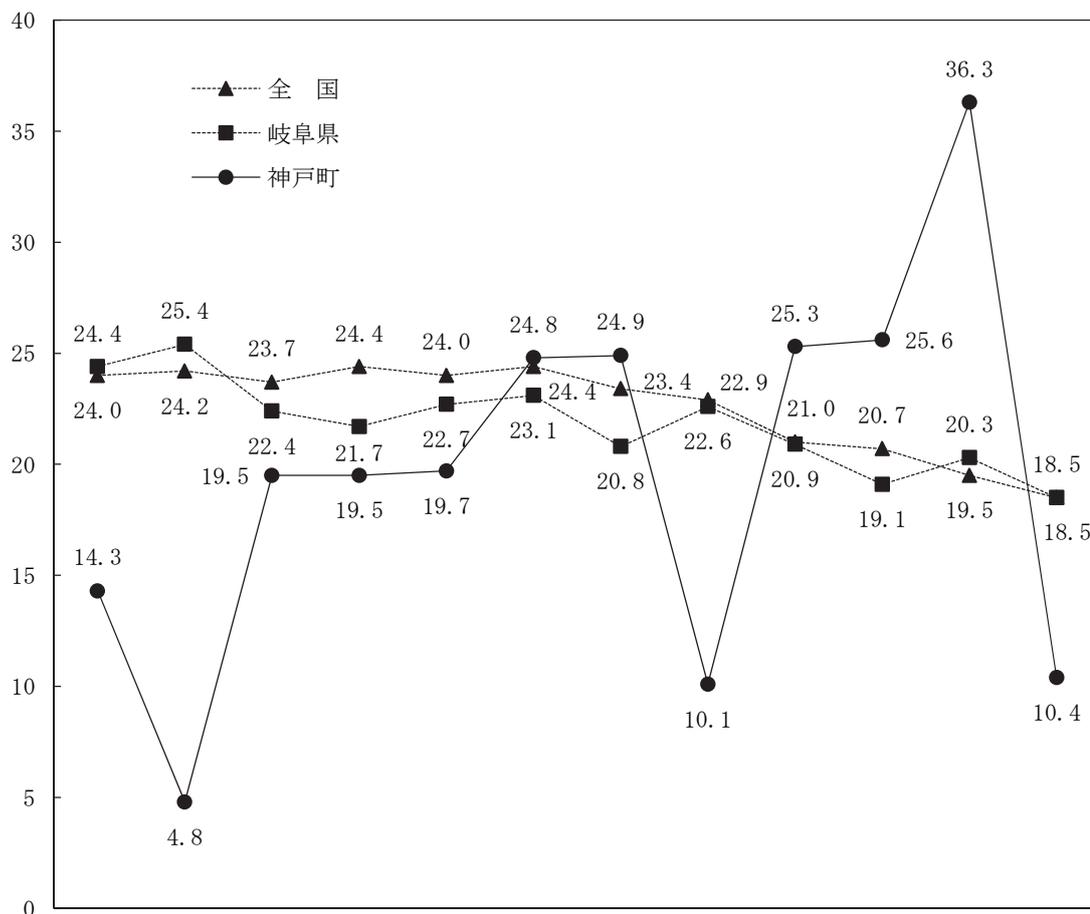
(注) 29歳以下の死亡はない。

資料：「西濃地域の公衆衛生2016」

(3) 自殺率と自殺者数

平成16年の人口10万人当たりの自殺率は、全国が24.0、岐阜県が24.4でしたが、平成27年にはともに18.5にまで低下しています。本町は、人口が少ないため、全国・岐阜県より高い年も低い年もあります。

図1-1-13 自殺率の推移（人口10万対）

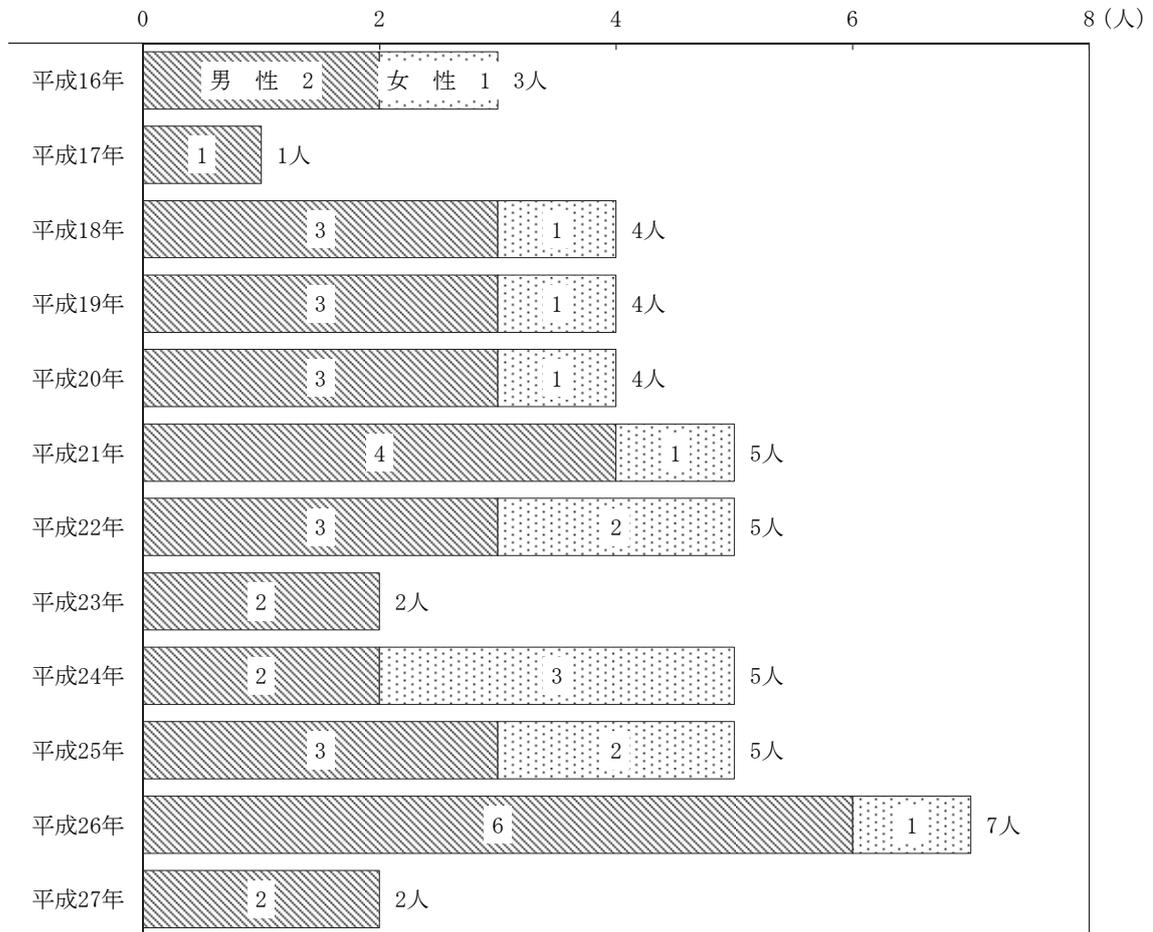


	平16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
全 国	24.0	24.2	23.7	24.4	24.0	24.4	23.4	22.9	21.0	20.7	19.5	18.5
岐阜県	24.4	25.4	22.4	21.7	22.7	23.1	20.8	22.6	20.9	19.1	20.3	18.5
神戸町	14.3	4.8	19.5	19.5	19.7	24.8	24.9	10.1	25.3	25.6	36.3	10.4

資料：「人口動態統計」

図1-1-14は、平成16年以降の本町の性別自殺者数の推移です。最も多いのが平成26年の7人、最も少ないのが平成17年の1人です。この12年間の自殺者数を性別にみると、男性が34人、女性が13人の計47人です。

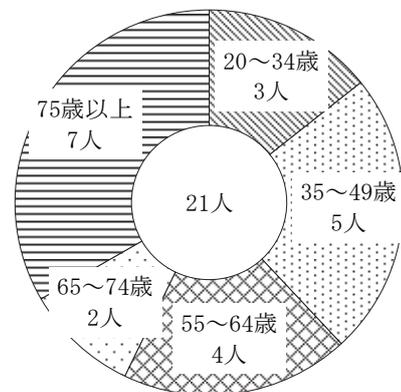
図1-1-14 自殺者数の推移



資料：「人口動態統計」

図1-1-15は、平成23年～平成27年の自殺者数21人を年齢階層別にみたものです。75歳以上の自殺者は、全体の3分の1に当たる7人もいます。

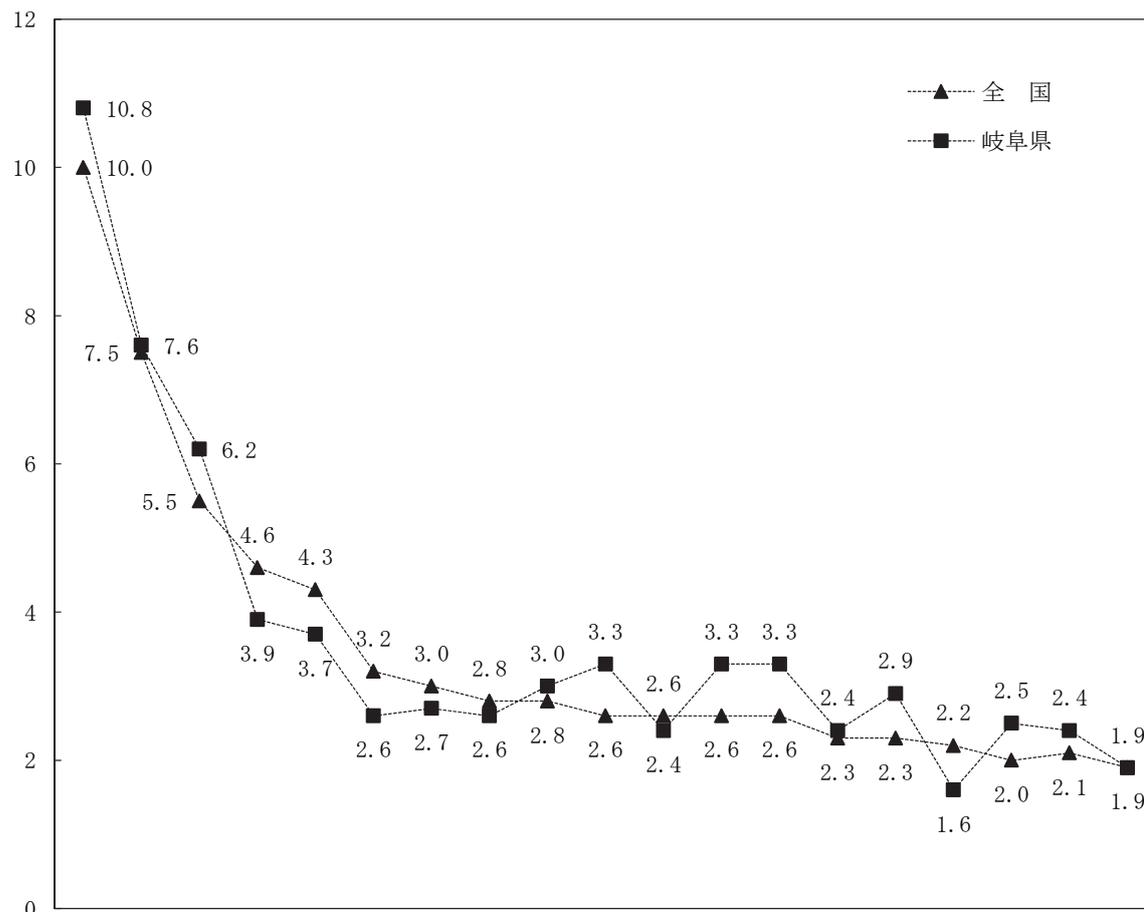
図1-1-15 年齢階層別自殺者比率（平成23年～平成27年）



(4) 乳児死亡率の推移

図1-1-16は、出生1,000人当たりの生後1年未満の死亡率です。乳児死亡率は、全国・岐阜県とも低下を続け、平成27年は昭和50年の5分の1以下となっています。本町は、平成15年以降、5人の乳児死亡がありました。直近5年間はありません。日本は、世界で最も乳児死亡率が低い国です。

図1-1-16 乳児死亡率の推移（出産1,000対）



		昭50	55	60	平2	7	12	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
本町	率	不明	3.9	4.1	-	-	14.6	-	5.3	5.2	5.0	-	-	-	13.5	-	-	-	-	-
	人	不明	1	1	-	-	3	-	1	1	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-

資料：「人口動態統計」

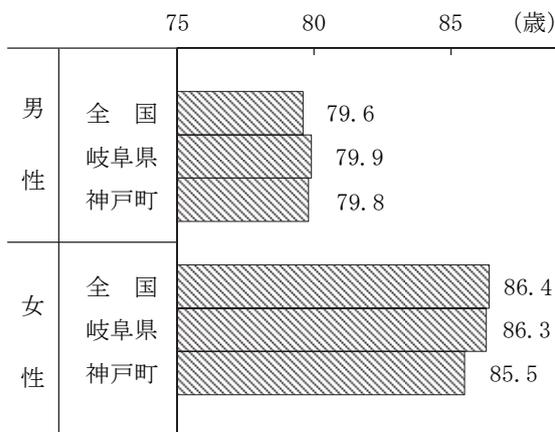
(5) 死産率の推移

全国の死産率は、自然死産・人工死産とも低下傾向にあります。岐阜県は、全般的に全国より低い値で推移しています。本町は、人口が少ないため、全国・岐阜県を大幅に上回っている年もあれば、大幅に下回っている年もあります。

(6) 平均寿命

平成22年の岐阜県の平均寿命は、男性が0.3歳全国平均を上回っており、女性が0.1歳下回っています。平成22年の本町の男性の平均寿命は79.8歳で、全国平均より0.2歳上回っていますが、岐阜県平均より0.1歳下回っています。女性は85.5歳で、全国平均より0.9歳、岐阜県平均より0.8歳下回っています。

図1-1-18 平均寿命（平成22年）



資料：厚生労働省「平成22年生命表」

4 要支援・要介護認定者

平成25年の全国の平均寿命は、男性が80.21歳、女性が86.61歳であり、健康寿命は、男性が71.19歳、女性が74.21歳と公表されています。健康寿命とは、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間をいいます。したがって、男性で平均9.02年、女性で平均12.4年間、要介護等の状態で暮らす期間があることとなります。

平成22年5月末の要支援・要介護認定者629人が、6年後の平成29年5月末には776人と、23.4%増加しています。増加率が高いのは、要介護1・要介護2であり、要介護5は減少しています（図1-1-19）。この間の65歳以上人口の増加率が22.2%ですから、65歳以上人口に占める要支援・要介護認定者の比率は、ほぼ横ばいといえます。

年齢階級別の要支援・要介護認定者の比率をみると、「90歳以上」が26.8%と最も高く、次いで「80～84歳」（23.8%）、「85～89歳」（22.6%）となっており、これより低い年齢階層は、低くなるにつれ低下しています（図1-1-20）。要支援・要介護度別認定者の比率は、要介護2の24.3%が最も高く、次いで要介護3（20.6%）、要介護4（15.4%）、要介護5（13.1%）などとなっています（図1-1-21）。

図1-1-22で性別・年齢階級別要支援・要介護認定者の発生率をみると、年齢階級が上がるにつれ高くなっており、90歳以上では男性が56.1%、女性が75.8%にもなっています。65歳以上の発生率は、男性8.6%、女性15.3%と大きな性差が認められます。65歳以上全体の発生率を計算すると12.5%になり、平成29年2月末の全国の発生率18.0%、岐阜県の16.1%よりかなり低くなっています。

図1-1-19 要支援・要介護認定者数の推移（各年5月末現在）

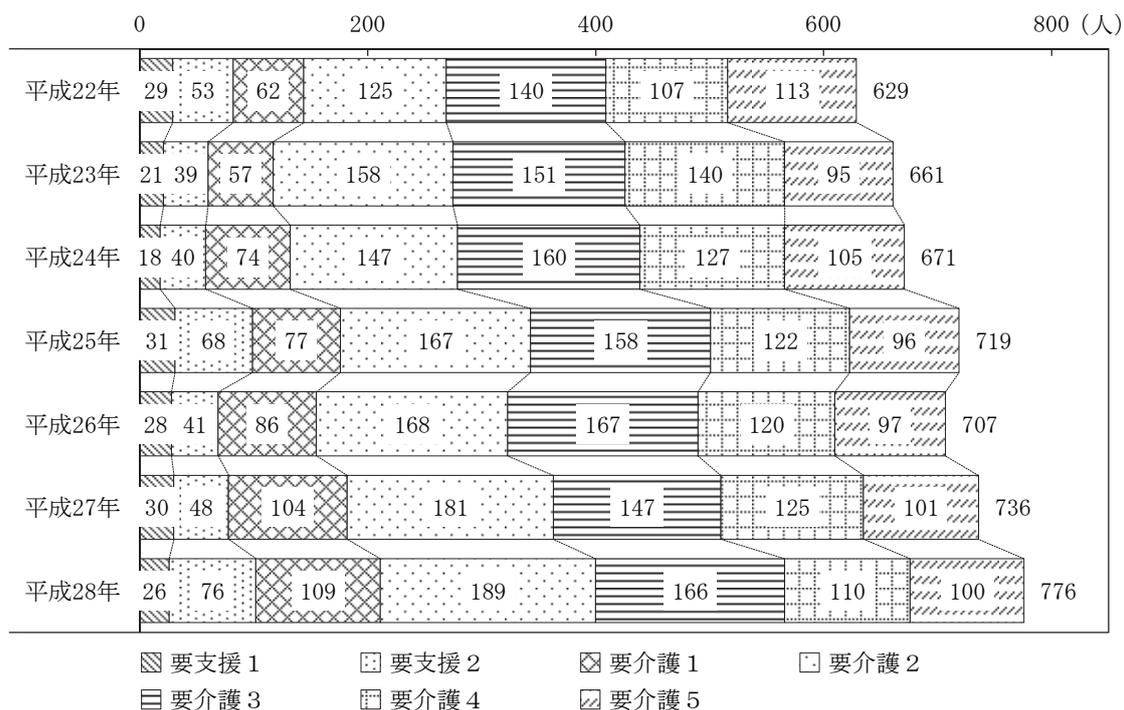


表1-1-3 性別・年齢階級別要支援・要介護認定者数（平成29年6月現在）

単位：人

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	
40～64歳	男性	0	0	3	2	1	2	0	8
	女性	1	0	0	0	2	1	2	6
	小計	1	0	3	2	3	3	2	14
65～69歳	男性	1	6	0	5	4	3	1	20
	女性	0	1	0	1	0	1	6	9
	小計	1	7	0	6	4	4	7	29
70～74歳	男性	1	2	4	9	6	3	2	27
	女性	2	4	6	6	2	4	4	28
	小計	3	6	10	15	8	7	6	55
75～79歳	男性	0	4	6	8	8	7	0	33
	女性	3	8	11	19	11	9	4	65
	小計	3	12	17	27	19	16	4	98
80～84歳	男性	4	5	8	19	10	5	12	63
	女性	9	14	13	29	22	16	9	112
	小計	13	19	21	48	32	21	21	175
85～89歳	男性	4	3	6	16	8	7	5	49
	女性	4	13	10	28	28	17	17	117
	小計	8	16	16	44	36	24	22	166
90歳以上	男性	1	0	4	7	8	13	4	37
	女性	4	9	22	29	41	25	30	160
	小計	5	9	26	36	49	38	34	197
合計	男性	11	20	31	66	45	40	24	237
	女性	23	49	62	112	106	73	72	497
	小計	34	69	93	178	151	113	96	734

(注)「資格喪失者」「認定有効期間切れ者」は、本表に含んでいない。

図1-1-20 年齢階級別要支援・要介護認定者の比率（平成29年6月現在）

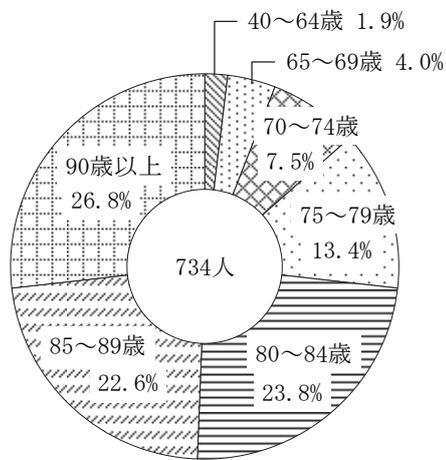


図1-1-21 要支援・要介護度別認定者の比率（平成29年6月現在）

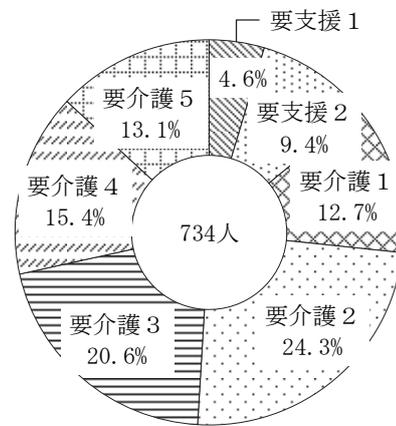
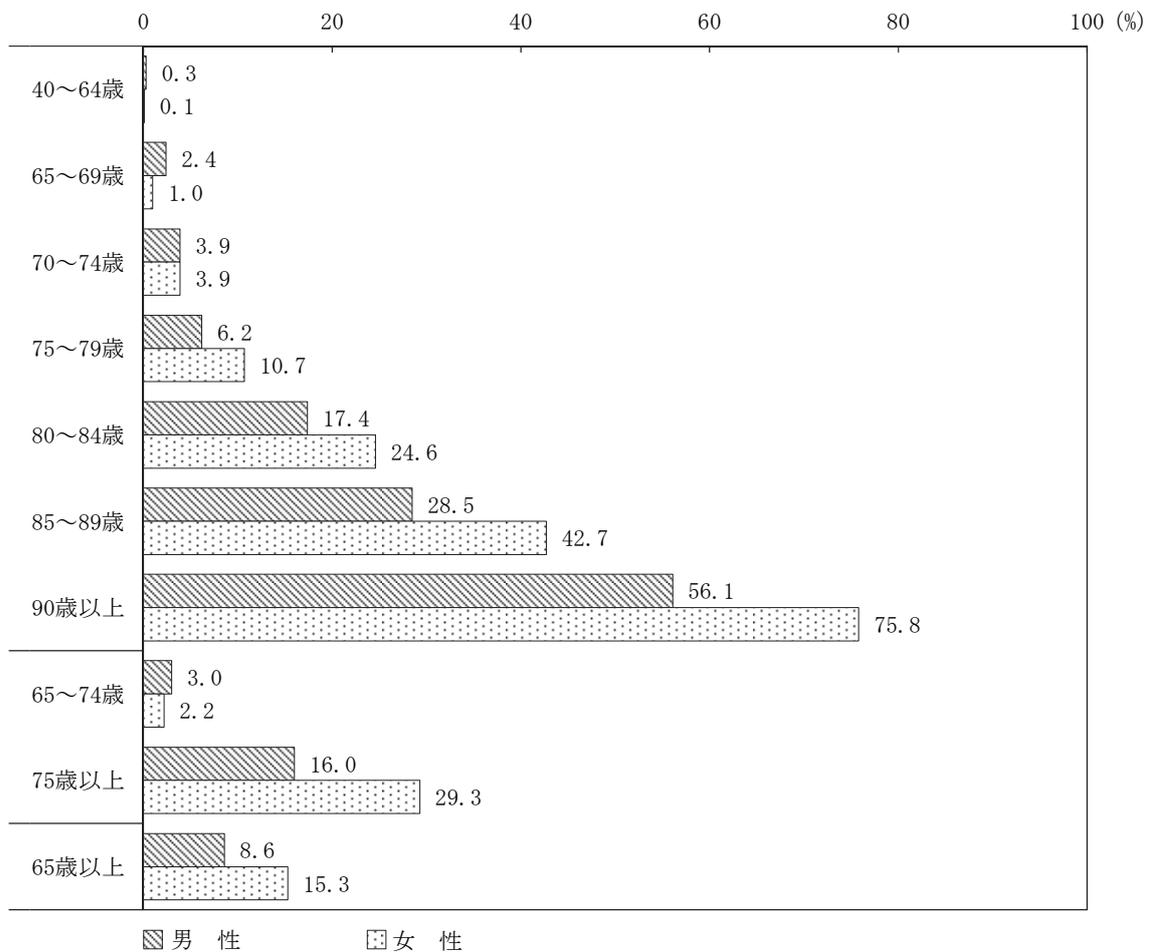


図1-1-22 性別・年齢階級別要支援・要介護認定者発生率（平成29年6月）

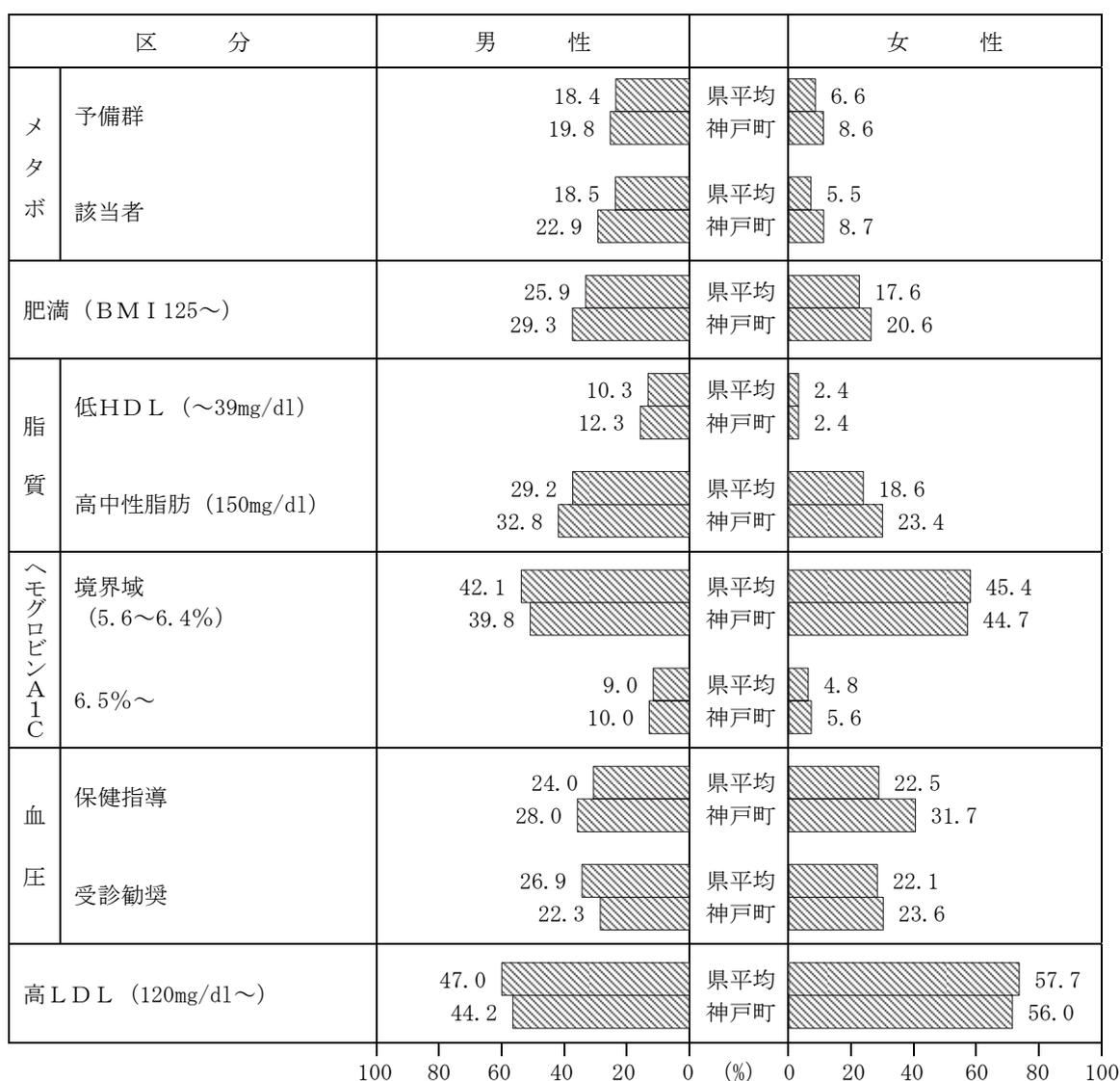


5 疾病等

(1) 国民健康保険特定健康診査結果による異常割合

老人保健法が高齢者の医療の確保に関する法律に改正され、平成20年度から保険者が40歳以上の加入者に特定健康診査を行うこととされました。図1-1-23は、平成27年度の国民健康保険加入者の特定健康診査結果による異常割合を示したものです。本町は、男女ともメタボリックシンドローム該当者・予備群の率が岐阜県より高くなっています。

図1-1-23 平成27年度国民健康保険特定健康診査結果による異常割合（40～74歳）



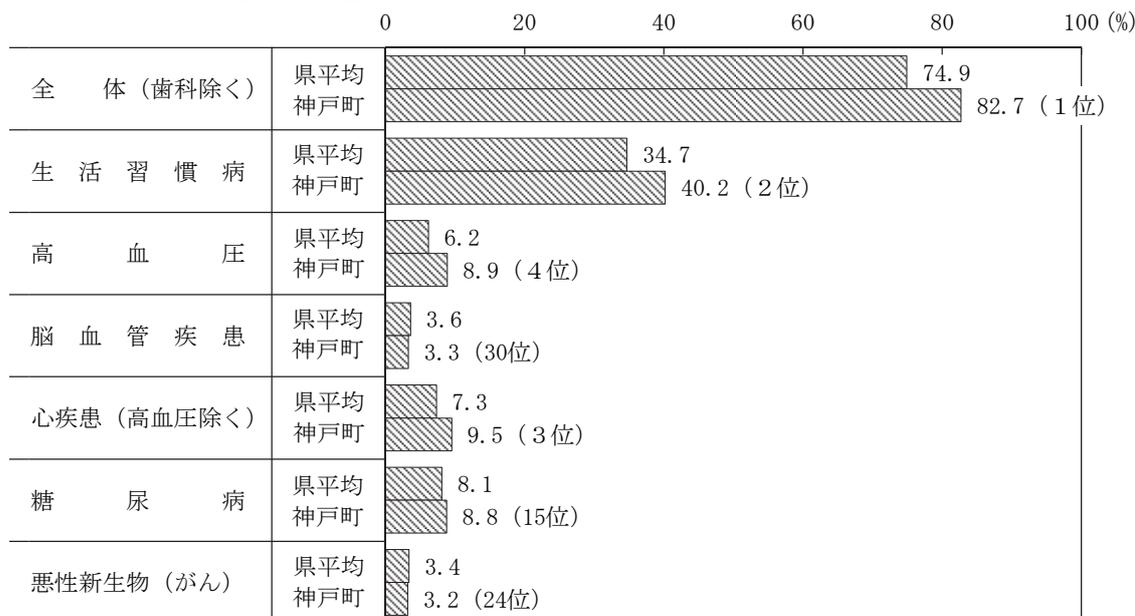
（注）受診者数は、男性が県62,346人、神戸町869人、女性が県82,886人、神戸町が1,172人
資料：岐阜県「平成27年度特定健診結果」

(2) 国民健康保険受診率

図1-1-24は、平成28年5月の国民健康保険被保険者の受診率です。受診率は、件数÷被保険者数で計算しています。

本町は、脳血管疾患および悪性新生物（がん）以外の受診率が県平均より高く、歯科を除く全体で県内41市町村中1位となっています。

図1-1-24 国民健康保険受診率（平成28年5月）



(注) (位)は、県内41市町村の高受診率順位

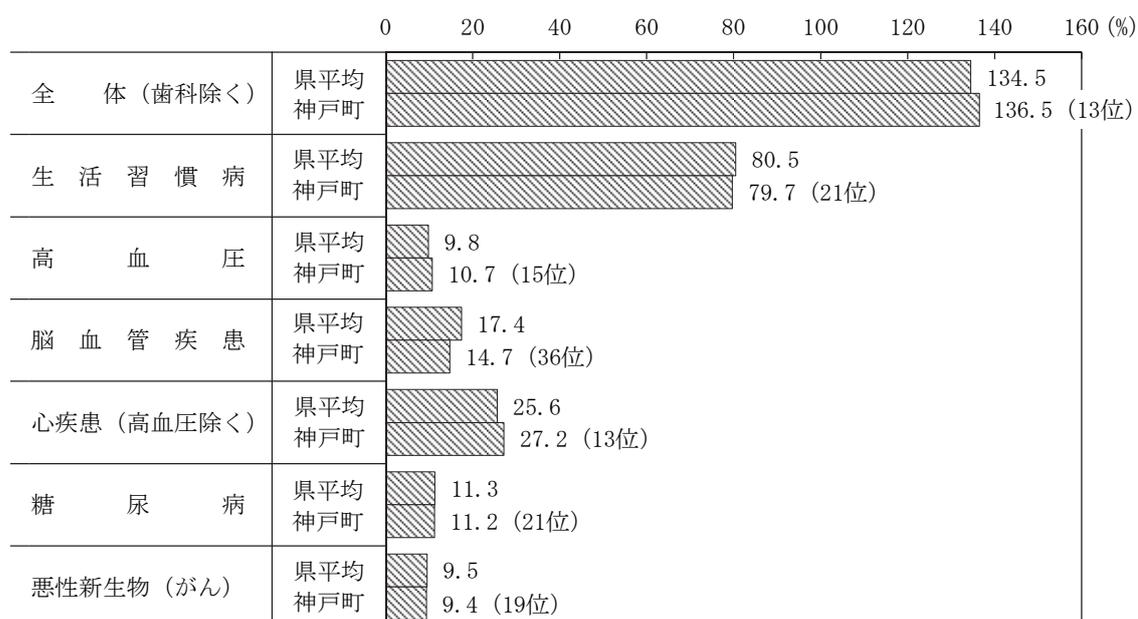
資料：岐阜県国民健康保険団体連合会「岐阜県疾病分類別統計表（平成28年5月）」

(3) 後期高齢者医療受診率

図1-1-25は、平成28年5月の後期高齢者医療被保険者の受診率です。

本町は、高血圧および心疾患（高血圧除く）の受診率が県平均より低いのですが、歯科を除く全体では41市町村中13位となっています。図1-1-24の本町の国民健康保険受診率の全体（歯科除く）が82.7%なのに対し、後期高齢者医療の全体（歯科除く）は136.5%と、53.8ポイントも高くなっています。これは、75歳以上の人の受診率は、74歳以下の人の受診率の1.5倍以上ということを示しています。

図1-1-25 後期高齢者医療受診率（平成28年5月）



（注）（位）は、県内41市町村の高受診率順位

資料：岐阜県国民健康保険団体連合会「岐阜県疾病分類別統計表（平成28年5月）」

(4) 疾病分類

表1-1-4は、平成28年5月の本町の国民健康保険被保険者がどのような病気で入院したり診察を受けたかをまとめたものです。入院件数は93件で「循環器系の疾患」（32件）が最も多く、入院日数（合計1,544日）も「循環器系の疾患」（588日）が最も多く、次いで「精神及び行動の障害」（340日）となっています。入院外件数（合計5,170件）で最も多いのも「循環器系の疾患」（1,121件）で、そのうち「高血圧性疾患」（462件）、「心疾患」（470件）が高い割合を占めています。次いで高いのが「歯及び歯の支持組織の疾患」（951件）です。入院外日数（合計8,648日）は、「循環器系の疾患」（1,761日）、「歯及び歯の支持組織の疾患」（1,633日）、「筋骨格系及び結合組織の疾患」（1,335日）などとなっています。

表1-1-5は、平成28年5月の本町の後期高齢者医療の疾病分類です。全体の入院件数は111件、入院日数は1,793日、入院外件数は3,908件、入院外日数は7,728日です。入院外は、表1-1-4の国民健康保険疾病分類より下回っていますが、後期高齢者医療の加入者数は国民健康保険加入者数の5割程度なので、一人当たりでは後期高齢者医療のほうが日数・件数ともかなり高くなっています。

表1-1-4 神戸町の国民健康保険疾病分類（平成28年5月）

区 分	入 院		入院外		合 計	
	件数	日数	件数	日数	件数	日数
総 計	93	1,544	5,170	8,648	5,263	10,192
感 染 症 及 び 寄 生 虫 症	-	-	110	179	110	179
ウ ィ ル ス 肝 炎	-	-	5	10	5	10
新 生 物	11	124	183	358	194	482
悪 性 新 生 物	11	124	157	323	168	447
胃 の 悪 性 新 生 物	1	4	26	58	27	62
腸 の 悪 性 新 生 物	2	42	28	62	30	104
肝 及 び 肝 内 胆 管 の 悪 性 新 生 物	-	-	3	4	3	4
気 管、気 管 支 及 び 肺 の 悪 性 新 生 物	-	-	11	13	11	13
乳 房 の 悪 性 新 生 物	-	-	22	37	22	37
子 宮 の 悪 性 新 生 物	-	-	3	9	3	9
血 液 及 び 造 血 器 の 疾 患 並 び に 免 疫 機 構 の 障 害	1	18	11	18	12	36
内 分 泌、栄 養 及 び 代 謝 疾 患	14	186	615	815	629	1,001
糖 尿 病	13	178	443	603	456	781
精 神 及 び 行 動 の 障 害	11	340	134	172	145	512
統 合 失 調 症、統 合 失 調 型 障 害 及 び 妄 想 性 障 害	9	278	31	37	40	315
神 経 系 の 疾 患	1	20	102	159	103	179
眼 及 び 付 属 器 の 疾 患	-	-	355	412	355	412
耳 及 び 乳 様 突 起 の 疾 患	3	22	57	83	60	105
循 環 器 系 の 疾 患	32	588	1,121	1,761	1,153	2,349
高 血 圧 性 疾 患	-	-	462	544	462	544
心 疾 患	25	451	470	856	495	1,307
脳 血 管 障 害	5	128	168	315	173	443
呼 吸 器 系 の 疾 患	1	8	321	492	322	500
消 化 器 系 の 疾 患	5	53	183	274	188	327
肝 臓 の 疾 患	1	4	23	35	24	39
皮 膚 及 び 皮 下 組 織 の 疾 患	-	-	234	357	234	357
筋 骨 格 系 及 び 結 合 組 織 の 疾 患	1	17	477	1,335	478	1,352
骨 の 密 度 及 び 構 造 の 障 害	-	-	49	100	49	100
腎 尿 路 生 殖 器 系 の 疾 患	4	31	106	180	110	211
妊 娠、分 娩 及 び 産 じ ょ く	-	-	2	6	2	6
周 産 期 に 発 生 し た 病 態	-	-	1	1	1	1
先 天 奇 形、変 形 及 び 染 色 体 異 常	-	-	6	11	6	11
症 状、徴 候 及 び 異 常 臨 床 所 見・異 常 検 査 所 見 で 他 に 分 類 さ れ ない も の	1	3	79	111	80	114
損 傷、中 毒 及 び そ の 他 の 外 因 の 影 響	7	105	122	291	129	396
歯 及 び 歯 の 支 持 組 織 の 疾 患	1	29	951	1,633	952	1,662
う 蝕	-	-	260	547	260	547
そ の 他 の 歯 及 び 歯 の 支 持 組 織 の 障 害	1	29	691	1,086	692	1,115

資料：岐阜県国民健康保険団体連合会「岐阜県疾病分類別統計表（平成28年5月診療分）」

表1-1-5 神戸町の後期高齢者医療疾病分類（平成28年5月）

区 分	入 院		入院外		合 計	
	件数	日数	件数	日数	件数	日数
総 計	111	1,793	3,908	7,728	4,019	9,521
感 染 症 及 び 寄 生 虫 症	1	6	57	104	58	110
ウ ィ ル ス 肝 炎	1	6	8	24	9	30
新 生 物	22	301	232	469	254	770
悪 性 新 生 物	21	296	221	446	242	742
胃 の 悪 性 新 生 物	3	63	31	59	34	122
腸 の 悪 性 新 生 物	6	66	45	66	51	132
肝及び肝内胆管の悪性新生物	3	15	16	36	19	51
気管、気管支及び肺の悪性新生物	1	31	12	36	13	67
乳 房 の 悪 性 新 生 物	1	8	23	38	24	46
子 宮 の 悪 性 新 生 物	-	-	4	4	4	4
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2	20	10	17	12	37
内 分 泌 、 栄 養 及 び 代 謝 疾 患	12	131	352	494	364	625
糖 尿 病	10	98	281	398	291	496
精 神 及 び 行 動 の 障 害	2	35	40	53	42	88
統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害	1	31	4	8	5	39
神 経 系 の 疾 患	-	-	76	148	76	148
眼 及 び 付 属 器 の 疾 患	4	5	344	421	348	426
耳 及 び 乳 様 突 起 の 疾 患	-	-	36	61	36	61
循 環 器 系 の 疾 患	47	959	1,330	2,439	1,377	3,398
高 血 圧 性 疾 患	-	-	276	375	276	375
心 疾 患	33	628	671	1,357	704	1,985
脳 血 管 障 害	14	331	365	688	379	1,019
呼 吸 器 系 の 疾 患	6	120	69	108	75	228
消 化 器 系 の 疾 患	6	51	105	192	111	243
肝 臓 の 疾 患	-	-	4	6	4	6
皮 膚 及 び 皮 下 組 織 の 疾 患	-	-	91	151	91	151
筋 骨 格 系 及 び 結 合 組 織 の 疾 患	2	27	463	1,645	465	1,672
骨 の 密 度 及 び 構 造 の 障 害	-	-	112	340	112	340
腎 尿 路 生 殖 器 系 の 疾 患	1	14	66	153	67	167
先 天 奇 形 、 変 形 及 び 染 色 体 異 常	-	-	1	1	1	1
症 状 、 徴 候 及 び 異 常 臨 床 所 見 ・ 異 常 検 査 所 見 で 他 に 分 類 さ れ ない も の	-	-	47	57	47	57
損 傷 、 中 毒 及 び そ の 他 の 外 因 の 影 響	6	124	100	265	106	389
歯 及 び 歯 の 支 持 組 織 の 疾 患	-	-	489	950	489	950
う 蝕	-	-	123	302	123	302
その他の歯及び歯の支持組織の障害	-	-	366	648	366	648

資料：岐阜県国民健康保険団体連合会「岐阜県疾病分類別統計表（平成28年5月診療分）」

6 医療保険制度

(1) 国民健康保険医療費の推移

図1-1-26は神戸町の国民健康保険医療費の推移、図1-1-27は神戸町の国民健康保険一人あたり医療費の推移です。一人あたり医療費は、平成22年度から平成28年度の6年間で81,744円増加しています。

図1-1-26 国民健康保険医療費の推移

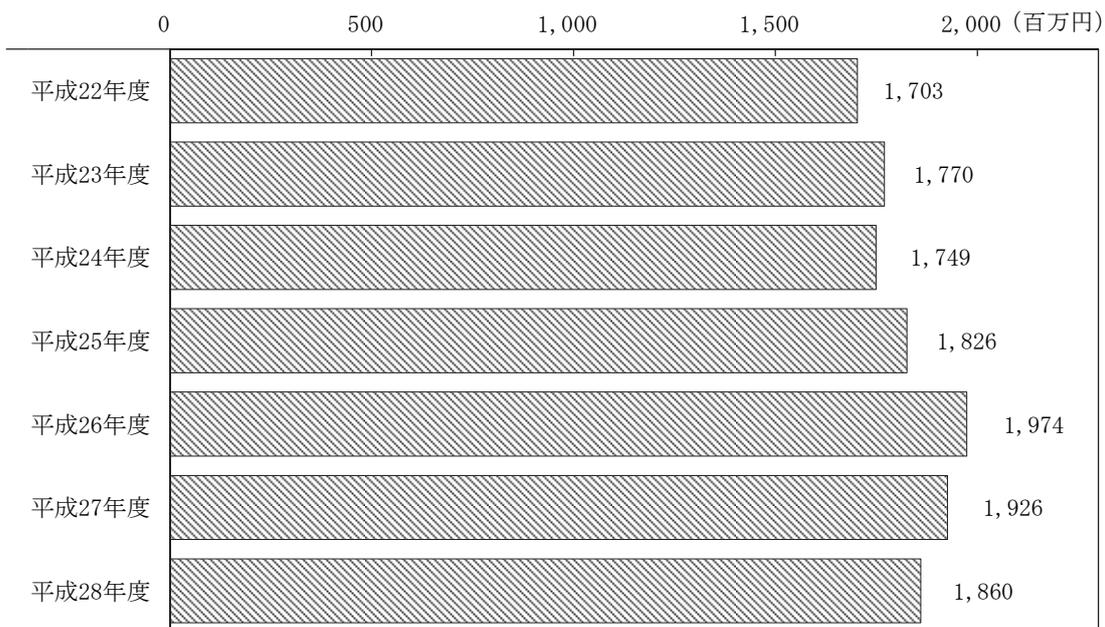
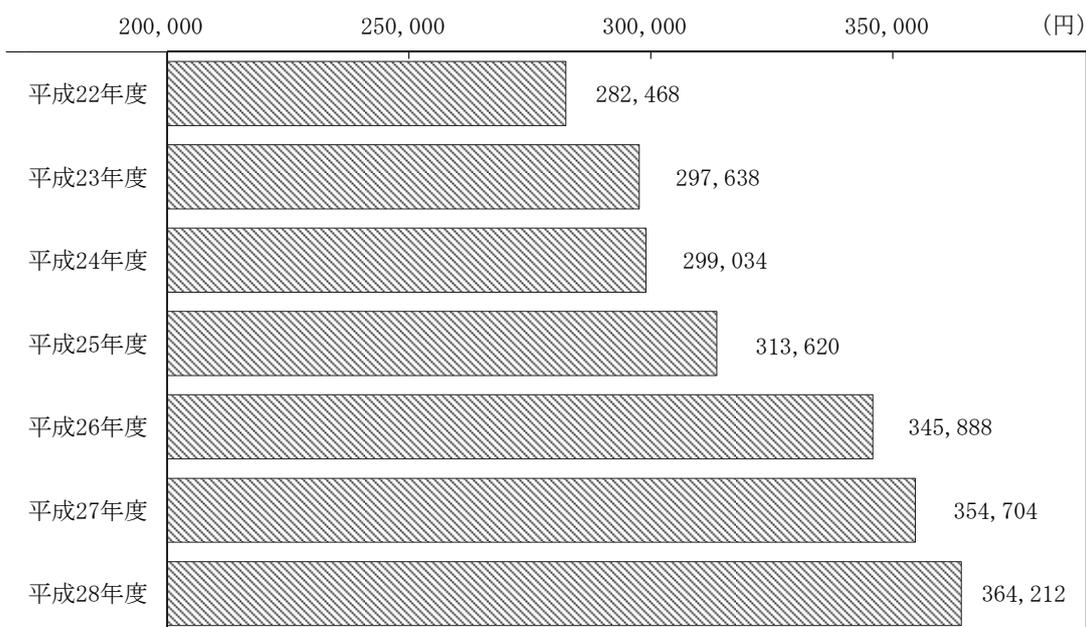


図1-1-27 国民健康保険一人あたりの医療費の推移

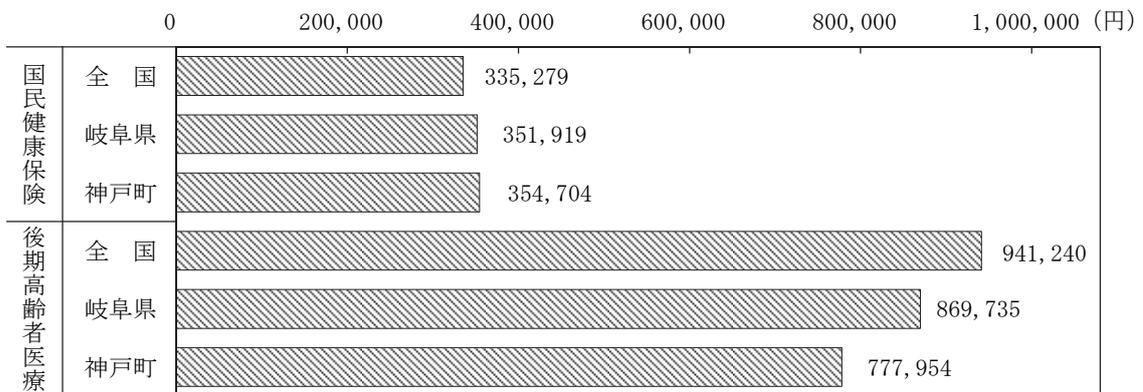


(2) 一人あたり医療費等の比較

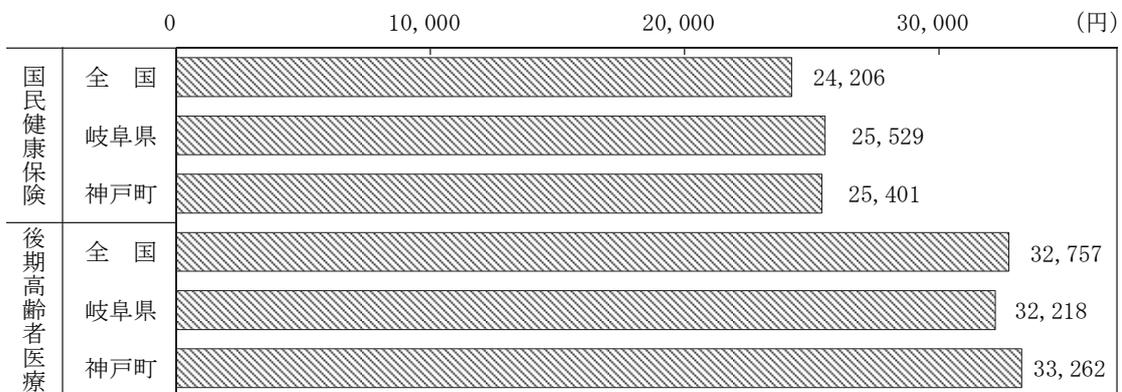
図1-1-28は、一人あたり医療費、一人あたり歯科医療費および一人あたり調剤医療費についての全国・岐阜県・神戸町の比較です。国民健康保険においては、本町の一人あたり医療費および一人あたり歯科医療費は全国より高くなっていますが、一人あたり調剤医療費は全国・岐阜県よりかなり低くなっています。後期高齢者医療は、一人あたり歯科医療費以外は本町が低くなっています。

図1-1-28 一人あたり医療費等の比較（平成27年度分）

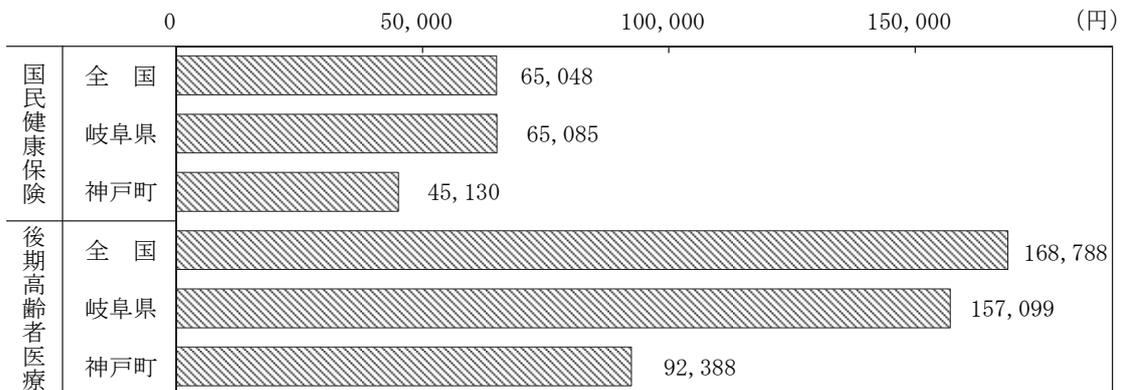
1 一人あたり医療費



2 一人あたり歯科医療費



3 一人あたり調剤医療費



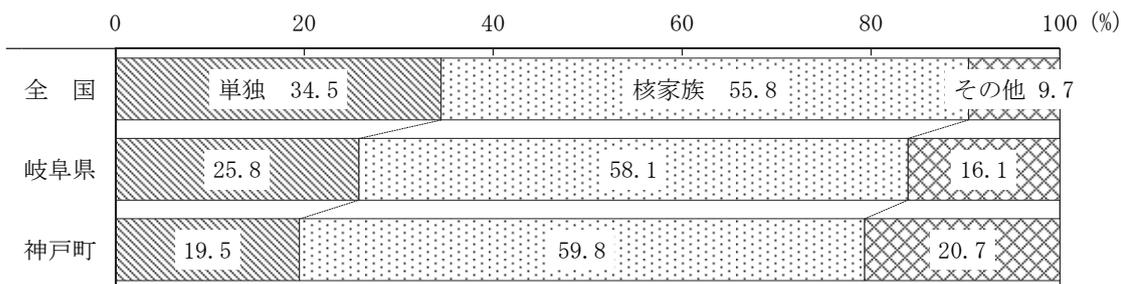
資料：全国・岐阜県は国民健康保険中央会「平成27年度国保医療費の動向」、神戸町は岐阜県国民健康保険団体連合会調べ

7 世帯と住居の状況

(1) 世帯の推移

平成27年の総世帯数は6,572世帯であり、そのうち59.8%が「核家族世帯」です。全国・岐阜県と比較すると、本町は「単独世帯」の比率が低く、三世帯・四世代世帯などの「その他の世帯」の占める率が高くなっています。

図1-1-29 家族類型別世帯の比率（平成27年）

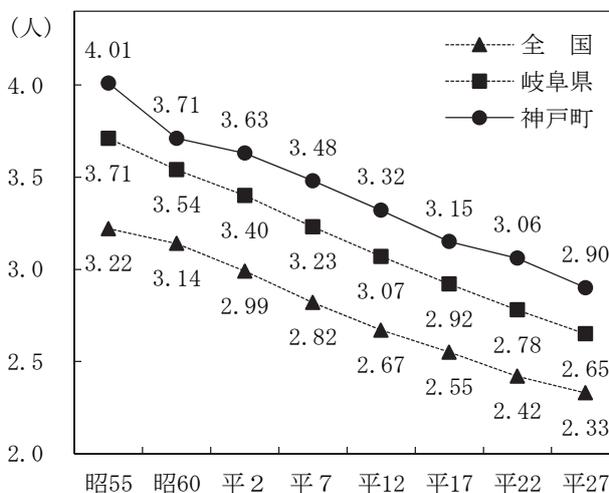


資料：「国勢調査」

(2) 平均世帯人員

図1-1-30は、全国、岐阜県および本町の平均世帯人員の推移を表したものです。全国、岐阜県、本町とも少子化・核家族化の進行等により世帯人員が減少しています。昭和55年～平成27年の35年間の平均世帯人員の減少は、全国0.89人、岐阜県1.06人、本町1.11人となっています。

図1-1-30 平均世帯人員の推移

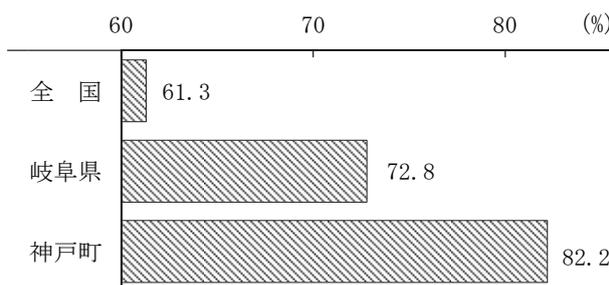


資料：「国勢調査」

(3) 住宅の所有関係

図1-1-31は、全国・岐阜県・本町の持ち家率の比較です。本町の持ち家率は、全国より20.9ポイント、岐阜県より9.4ポイント高くなっています。

図1-1-31 持ち家率（平成27年）



資料：「国勢調査」

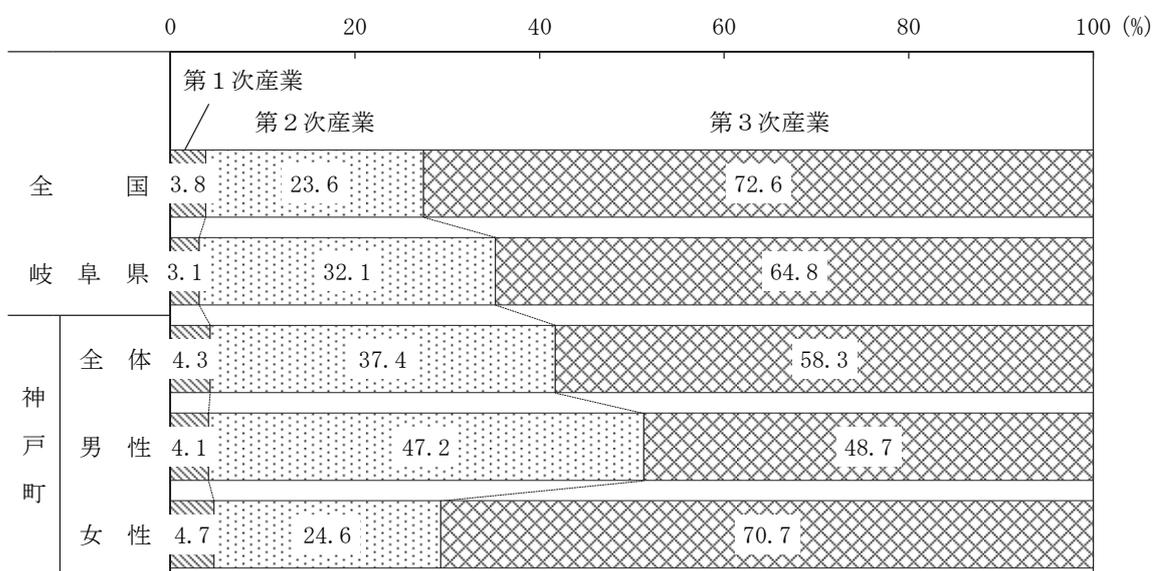
8 就業等の状況

(1) 業種別就業者数

平成27年10月時点での神戸町民の就業者総数は9,417人です。内訳は、第1次産業4.3%、第2次産業37.4%、第3次産業58.3%となっています。全国・岐阜県と比較すると、第1次・第2次産業が高く、第3次産業が低くなっています。また、男性は第2次産業が高く、女性は第3次産業が高くなっています（図1-1-32）。

業種別に就業者数をみると、製造業（2,824人）が最も多く、次いで卸売・小売業（1,412人）、医療・福祉（956人）、建設業（687人）などとなっています（表1-1-6）。

図1-1-32 産業分類別就業者比率（平成27年）



(注) 労働力状態「不詳」は、「第3次産業」に含む。

資料：「国勢調査」

表1-1-6 業種別就業者数（平成27年）

単位：人

区分	農業	建設業	製造業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業	宿泊業、飲食サービス業	医療・福祉	その他	計
男性	214	574	1,927	417	643	121	196	1,233	5,325
女性	190	113	897	92	769	291	760	980	4,092
合計	404	687	2,824	509	1,412	412	956	2,213	9,417

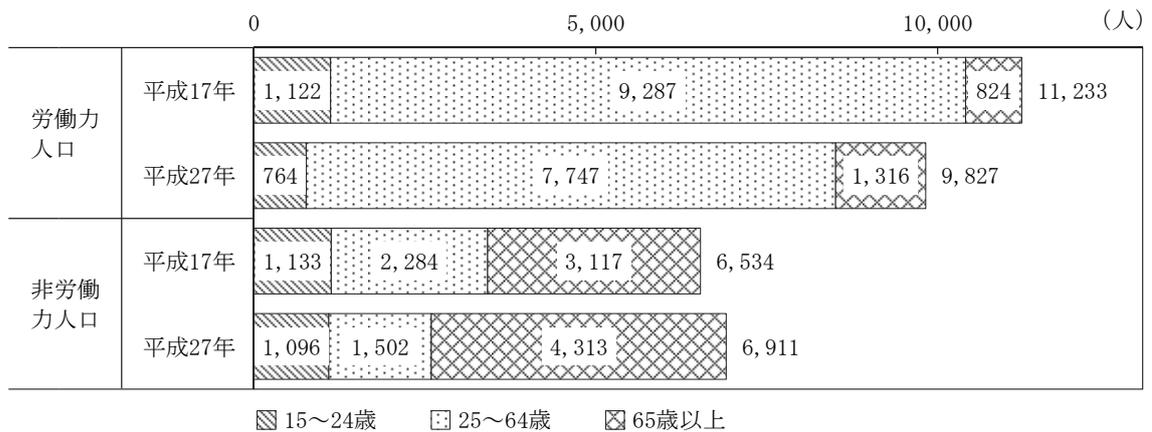
(注) 労働力状態「不詳」は、「その他」に含む。

資料：「国勢調査」

(2) 労働力人口の変化

図1-1-33は、平成17年と平成27年の労働力人口の変化をみたものです。労働力人口は、平成17年の11,233人が平成27年には9,827人と、1,406人減少しています。非労働力人口は、平成17年の6,534人が平成27年には6,911人と377人増加しています。この労働力人口の減少は、人口の高齢化が最も大きな要因ですが、これに人口の減少が拍車をかけていると考えられます。

図1-1-33 労働力人口の変化



(注) 労働力人口＝就業者（休業者を含む）＋完全失業者
 非労働力人口＝家事＋通学＋その他

資料：「国勢調査」